

原発事故当時の元首相の「証言」と 専門家の「検証」で諸問題を解説

2023
10/19
発売

証言と検証 福島事故後の原子力

山崎 正勝
館野 淳 編集
鈴木 達治郎

あれから変わったもの、
変わらなかったもの



福島第一原発事故後の歴史を振り返り、
原子力発電の実相と克服すべき課題を明らかに

証言 事故当時の首相・菅直人氏、民主党政権時代の
原子力委員長代理・鈴木達治郎氏にインタビュー

検証 <きびしい現実> 12年後の事故現場と原子力行政の現状
<変えられない、変わらない> 核燃料サイクル
<原子力に未来はあるのか> 新型炉・放射性廃棄物・戦争

あけび書房

目次

第1章

<きびしい現実>12年後の事故現場と原子力行政の現状

- ①福島第一原発事故からGX基本方針まで (鈴木達治郎)
- ②福島第一原発のシールドプラグの高放射能汚染 (野口邦和)
- ③溶融炉心 (デブリ) 取り出しは可能か (内藤正則)
- ④新規規制基準は破綻している—福島第一原発事故の衝撃 (後藤政志)

第2章

<変えられない、変わらない>核燃料サイクル

- ①六ヶ所村核燃料サイクル施設の設備と運転 (山崎正勝)
- ②世界の再処理施設の事故例 (館野淳)
- ③初期の再処理施設の放射能汚染 (野口邦和)
コラム 軽水炉でプルトニウムを燃やすプルスーマル、メリットはあるのか (館野淳)
- ④迷路にはまった六ヶ所再処理工場—「出口」は見えるか? (鈴木達治郎)

第3章

<原子力に未来はあるのか>新型炉・廃棄物・戦争

- ①小型モジュール炉とはなにか、安全なのか? (館野淳)
- ②高レベル放射性廃棄物をどうするのか (寿楽浩太)
- ③戦争と原発—ウクライナ (市川浩)

第4章

<当事者からの証言>福島第一原発事故と民主党政権

- ①菅直人元首相インタビュー「経済産業省には引っ込んでもらった」
- ②鈴木達治郎元原子力委員会委員長代理インタビュー
「民主党政権時代の原子力政策の回顧」

「まえがき」より (抜粋)

本書の特徴の一つは、関係当事者の「証言」にある。前著でも1988年の日米原子力協定について、その成立に尽力された故遠藤哲也氏に執筆していただいた。今回は、民主党政権時代の原子力委員長代理を務められた鈴木達治郎氏にインタビューにお応えいただくとともに、執筆と編集にも加わっていただいた。さらに、事故当時の首相であった立憲民主党最高顧問の菅直人氏にインタビューに応じていただいた。

本書のもう一つのキーワードは「検証」で、現在の原子力発電問題が抱える課題を、それぞれの専門家の報告をもとに章が組み立てられている。

本書の執筆者の原子力発電事業に対する見解は一様ではない。しかし、一致して、原子力に関する正確な情報を発信しようとしている。その努力が、少しでも多くの読者に伝われば幸いである。

ISBN978-4-87154-237-1 c3036

A5判並製 172頁

定価1980円(本体価格1800円+税)

あけび書房

TEL: 03-5888-4142 FAX: 03-5888-4448

〒167-0054 東京都杉並区松庵3-39-13-103

https://akebishobo.com/ Mail: info@akebishobo.com



ご記入の上、最寄りの書店あるいはあけび書房へご注文下さい。

注文書	書店印・取扱先	証言と検証 福島事故後の原子力		注文数
	団体名			冊
	送り先	〒()-()	氏名	
	その他備考		電話番号	

取次帖合：日販・トーハン・楽天ブックスネットワーク・中央社・大学図書・日教販・全官報・新日本図書・鎌谷書店・JRC

発行：あけび書房 TEL.03-5888-4142 FAX.03-5888-4448